

八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

文治2年（1186年）8月山城の国男山八幡宮より勧請する。片岡八郎常春の居住（大着山城内）より5～6町離れ丑寅の方角に当たる入賀の郷、妹岡山に守護神として奉斎。片岡弾正常明より社領、田畑八町二反を寄付、嫡子片岡主計常清を社司として、次男玄蕃之助常胤に武家を相続させた。常清子孫代々神務に励むが、国司金吾中納言の時、社領を召し上げられ、宝物も多数紛失したらしい。その後、当主池田輝政公より御高一石二斗の寄付を明治4年まで社納していたが、同年廃止される。常春の末流片岡浅治の家より注連竹6本を献ずるのが例になっていた。

明治42年12月、近郷の村社（片岡別宮天神・宝伝神社・天津神社・宇賀神社・山神社・飯盛神社）を合祀する。しかし、数年を経て、それぞれの村民の要望により各所に還御され奉斎されている。明治45年1月1日神饌幣帛料供進神社に指定される。



前の写真へ次

基本情報

神社コード 08036

神社名 八幡宮（ハチマンガウ）

通称名

旧社格 村社

鎮座地 〒704-8151 岡山市東区東片岡980

電話番号

FAX番号

駐車場 有 5台

御祭神 応神天皇, 仲哀天皇, 神功皇后

御神徳

主な祭典 10月体育の日：例大祭

宮司宅電話 086-946-1453

URL

e-mail

特記事項

氏子地域 岡山市東区（久々井、正儀、西片岡、東片岡）

交通アクセス

朝日小学校の北東600m

神事一覧

神輿行事

祭礼日時：10月10日11時

文化財指定：無

[神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)

